

「3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。」の『客観的な指標の算出方法の公表方法』に記入した方法で公表している資料

GPA に基づく成績評価

本校では、各科目の学業成績は定期試験及び臨時試験の点数によりA～Eまでの5段階で評価する。

この5段階評価に加え、一つの学期に履修した授業科目総単位数の平均数値であるGPA (Grade Point Average) により学生の履修到達度を測定している。

GPA とは

GPA とは一定の計算式で算出された指標に基づく成績評価方法であり、欧米では多くの大学が取り入れている。

GPA 導入の目的

個々の科目の成績評価だけでなく学修成績全体の状況を把握し、適切な学習指導に役立てることが第一の目的。

さらに、本校卒業生が海外において美容分野で就業する際、多くの国でGPAによる成績評価書の提出を求めている。こうした国際的な評価に対応し、本校卒業生の活躍の場を広げることもまた、この制度を導入した目的でもある。

GPA の算出方法

各科目の評価点ごとのポイントを合計し、それを合計単位数で割ったものがGPA。

算定式は以下のとおり（小数点以下第3位以下は四捨五入）。

$$GPA = \frac{\text{【履修科目単位数} \times \text{ポイント】の合計}}{\text{履修した授業科目の総単位数}}$$

評価点に対応するポイントは以下のとおり。

点数	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価	A	B	C	D	F
ポイント	4.0	3.0	2.0	1.0	0

《例》

4科目中、3単位の科目の成績評価がA、同様に5単位の科目がB、4単位の科目がC、6単位の科目がDだったとき、合計単位は18で、GPAは以下の計算式により求められる。

$$\frac{(3 \text{ 単位} \times 4 \text{ point}) + (5 \text{ 単位} \times 3 \text{ point}) + (4 \text{ 単位} \times 2 \text{ point}) + (6 \text{ 単位} \times 1 \text{ point})}{18} = 2.28$$

※ 一般に平均的 GPA は 2.0~2.7 あたりとされている。

アメリカでは 2.0 以下の場合、退学勧告を受ける場合もある。

GPA 算出の対象科目

定期試験等による成績評価を行う全ての授業科目が対象。

ただし、次の各号に該当する授業科目については算定対象から除く。

- (1) 入学前に他の専門学校や大学、短期大学において履修した授業科目
- (2) 本学校在学中に他の大学や短期大学において履修した授業科目
- (3) 本校への編入学等に伴い、本校にける学修と同等以上の学力があると認定した授業科目。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、教科課程における集中授業。